演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

1. 授業の概要（ねらい）

本ゼミは実社会に出ると先ず新入社員に求められる5つのスキル、①積極的行動力、②正しい礼儀作法、③コミュニーケーション力、④ホウレンソウやスピーディな動作、⑤自ら考え発言実行する自主性を多少でも身につけるように、鉄道・バスなど陸上交通に関心がある学生（観光、企業経営に関心があれば交通に限らず）をゼミ生として、研究テーマをグループまたは個人に分かれて調査研究し、発表、論文を書き上げて「報告書」を作成します。その作成過程でグループディスカッションを行い、他人の意見を聞き、研究テーマについて、さらに新たな気づきを得て、もう一工夫して、それを論文に展開する作業をします。このように自ら考え他人の意見を活かして、作られた論文をきちんと説明できることは就活ではまちがいなく役立ちます。本ゼミの中で問題解決法、QC七つ道具、ガントチャート他を使用する機会を設け、卒業後に遭遇する課題解決・突破しなければならない案件のブレークスルー・生き残るためのイノベーションに結びつけてもらいたい。

また秋期中に1回は企業視察訪問を予定しています。「好きなこと」「興味のあること」であれば、困難な時にあきらめず、逃げずに、続けられると思っています。しかし、そうでない時も使命感・責任感が必要です。私は研究には絶えず新しいことに挑戦する意欲、苦労を楽しみながら創造的な思考を鍛える演習を目指します。

2. 授業の到達目標

①自らの興味・関心を明らかにした上で、自主的に研究テーマを設定し、取り組み、対象分野・範囲を絞り込み、 研究方法を考え、（ガントチャートを使用した）研究計画スケジュールを立てることできる。

②研究計画書が要求する文献調査・現場調査等を学修して、問題に対する解決手法を修得する。

③グループでの協働ができ、1年間の研究活動をまとめて発表、またはレポート論文作成ができる。

3. 成績評価の方法および基準

評価はレポート50%、発表30%、質疑応答への参加、主体的なゼミ運営への貢献20%の配分によって総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
テキストは使用しない。各テーマに合った文献紹介や資料を配布する。
参考文献
川喜田二郎 著　①『発想法　創造性開発のために』改版　中公新書
斉藤孝 著　②『質問力　話し上手はここがちがう』　筑摩書房
澤田昭夫 著　③『論文の書き方』　講談社
稲葉崇志 著　④『「A４一枚」から始める最速の資料作成術　社内プレゼン一発OK!』　CCCメディアハウス

5. 準備学修の内容

通年で取り組む研究テーマに対して受けた意見・アドバイスに対して、積極的に対応し、最終報告書（レポート）へ反映すること。
就職活動に備えて時事問題（COVID-19）・観光ニュースに興味をもって情報収集し、自分の見解、まとめを1分（300字）で言えるように備えておくこと。

6. その他履修上の注意事項

演習系科目のため出席は必須である。ゼミは、自らの研究・調査・まとめを通じて「楽しく学びながら成長する」ために存在するので、積極的に取り組むこと。　研究テーマを基にグループ討議し、「考え行動する→自分の言葉で表現する」を繰り返すして、就職活動や社会に出て役立つプレゼンテーションの練習をすること。

最後に今期は14回目がLMSによるオンライン授業となるので、各回の授業内容を注意して読んで下さい。また期末の経済学部ゼミ発表会には岡﨑ゼミから選抜テーマ2件参加予定です。

7. 授業内容

【第1回】　夏期休業中の成果報告 研究計画対するコメント
【第2回】　企業視察（鉄道車両工場他予定）
【第3回】　成果報告に対する他のグループからのアドバイス（課題・問題点）
【第4回】　調査・研究結果の掘り下げ（1）
【第5回】　調査・研究結果の掘り下げ（2）
【第6回】　調査・研究結果の掘り下げ（3）
【第7回】　調査・研究結果中間発表 他のグループからのアドバイス（良い点・改善点）
【第8回】　キャリアガイダンス（先輩の就活Q&A）
【第9回】　論文構成（目次）の作成
【第10回】　レポート論文執筆（1）
【第11回】　レポート論文執筆（2）・発表要旨の作成（1）
【第12回】　レポート論文執筆（3）・発表要旨の作成（2）
【第13回】　ゼミ内最終発表その1（先行組4テーマ予定）
【第14回】　ゼミ発表会プレゼンテーション本番での心得　（LMSによるオンライン授業）
【第15回】　ゼミ内最終発表その2（後発組5テーマ予定）&質問とディベート準備、レポート論文提出

※授業の計画はあくまでも当初の予定であり、新型コロナ（COVID-19)感染状況・訪問会社や講師の都合・授業進捗状況によっては変更されることがある。